

# 2023年度(2024年3月期) 第2四半期決算説明資料(IFRS)

IHI

2023年11月7日

株式会社 IHI



# 目次

1. 2023年度第2四半期 連結決算	
連結決算総括.....	4
連結決算の概要(受注高, 連結損益計算書).....	5
受注高・売上収益・営業損益の減少となる特別要因.....	6
報告セグメント別内訳.....	7
金融損益等.....	12
連結財政状態計算書.....	13
連結キャッシュ・フロー計算書.....	14
補足資料.....	15
2. 2023年度 連結業績見通し	
通期業績見通し.....	17
報告セグメント別内訳.....	18
連結キャッシュ・フロー 通期見通し.....	21
3. 報告セグメント別の概況	
資源・エネルギー・環境.....	23
社会基盤.....	25
産業システム・汎用機械.....	27
航空・宇宙・防衛.....	29
<参考資料>.....	31

※ 各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

IHI

# 1. 2023年度第2四半期 連結決算

- PW1100G-JMエンジンの追加検査プログラムおよびIHI E&Cにおける訴訟和解の影響を一括計上。
- PW1100G-JM以外の民間向け航空エンジンについては、旅客需要の回復は堅調であるものの、アフターマーケット関連の費用が増加。足もとの状況も踏まえ、業績変動リスクを一定程度見通しに反映。
- 資機材価格高騰の価格転嫁やコスト構造強化については、年度末までの刈り取りに向け活動を推進。
- 足もと、民間向け航空エンジンの増産に向けた在庫確保を優先するものの、営業CF獲得に向け、運転資本改善の取り組みを加速。

# 1. 2023年度第2四半期 連結決算 連結決算の概要(受注高, 連結損益計算書)

当期の受注高, 連結損益計算書に, PW1100G影響額およびE&C和解影響額を一括計上。  
これらの特別要因の小計は, 下表②のとおり。

(億円)

	'22年度2Q	'23年度2Q ①	増 減	特別要因			'23年度2Q (特別要因を 除く参考値) ①-②
				PW1100G 影響額	E&C和解 影響額	小計 ②	
受注高	6,428	4,802	▲ 1,625	▲ 1,541	▲ 146	▲ 1,687	6,490
売上収益	5,944	4,703	▲ 1,241	▲ 1,541	▲ 146	▲ 1,687	6,390
営業利益	335	▲ 1,570	▲ 1,905	▲ 1,583	▲ 146	▲ 1,730	160
税引前 四半期利益	395	▲ 1,510	▲ 1,905	▲ 1,583	▲ 146	▲ 1,730	219
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	211	▲ 1,375	▲ 1,586	▲ 1,349	▲ 146	▲ 1,496	120

売上平均レート(米ドル) '22年度2Q 131.56円  
'23年度2Q 140.62円

# 1. 2023年度第2四半期 連結決算 受注高・売上収益・営業損益の減少となる特別要因

## (1) 出荷済みのPW1100G-JMエンジンに関する追加検査プログラム

- 現在進行している出荷済みのPW1100G-JMエンジンに関する追加検査プログラムにおいて、今後数年間で整備台数が増加し、2024年から2026年までの期間に平均350機の地上駐機が見込まれる。
- これに伴い発生する補償費用や追加整備費用等として、当社の同エンジンプログラムへの参画シェア(約15%)相当の1,541億円を当期の受注高・売上収益の減少(※)、営業損益の減少として1,583億円を計上。

## (2) IHI E&Cにおける訴訟の和解合意

- 当社の連結子会社であるIHI E&Cが過去に受注した、北米のプロセスプラント案件の工事遅延に関する訴訟について、IHI E&Cが和解金を受け取ることで合意。
- 和解金と前期までに売上収益として計上した金額との差額146億円を、当期の受注高・売上収益・営業損益の減少(※)として計上。

(※お客様との取引対価の調整として扱い、受注高・売上収益を減少)

# 1. 2023年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(受注高・受注残高)

IHI

(億円)

	受注高			受注残高		
	'22年度2Q	'23年度2Q	増減	'22年度末	'23年度2Q末	増減
資源・エネルギー・環境	2,109	1,617	▲492	5,657	5,653	▲3
社会基盤	555	591	36	2,184	2,049	▲134
産業システム・汎用機械	2,236	2,292	55	2,010	2,160	149
航空・宇宙・防衛	1,492	246	▲1,245	2,934	3,095	160
報告セグメント計	6,393	4,747	▲1,646	12,786	12,959	173
その他	255	291	36	208	252	43
調整額	▲220	▲236	▲15	-	-	-
合計	6,428	4,802	▲1,625	12,994	13,211	216

海外受注高・受注残高	3,450	1,628	▲1,822	3,907	3,947	40
海外受注高・受注残高比率	54%	34%	▲20%	30%	30%	0%

受注残高の変動には、為替レート変更の影響を含む。

# 1. 2023年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(受注高・受注残高)

※特別要因を除く参考値

IHI

(億円)

	受注高			受注残高		
	'22年度2Q	'23年度2Q	増減	'22年度末	'23年度2Q末	増減
資源・エネルギー・環境	2,109	1,763	▲345	5,657	5,653	▲3
社会基盤	555	591	36	2,184	2,049	▲134
産業システム・汎用機械	2,236	2,292	55	2,010	2,160	149
航空・宇宙・防衛	1,492	1,787	295	2,934	3,095	160
報告セグメント計	6,393	6,435	41	12,786	12,959	173
その他	255	291	36	208	252	43
調整額	▲220	▲236	▲15	-	-	-
合計	6,428	6,490	62	12,994	13,211	216

海外受注高・受注残高	3,450	3,315	▲134	3,907	3,947	40
海外受注高・受注残高比率	54%	51%	▲3%	30%	30%	0%

受注残高の変動には、為替レート変更の影響を含む。



# 1. 2023年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益)

IHI

(億円)

	売上収益			営業利益		
	'22年度2Q	'23年度2Q	増減	'22年度2Q	'23年度2Q	増減
資源・エネルギー・環境	1,645	1,732	86	100	▲81	▲182
社会基盤	754	715	▲39	31	▲13	▲44
産業システム・汎用機械	2,002	2,136	133	53	30	▲22
航空・宇宙・防衛	1,509	93	▲1,416	188	▲1,477	▲1,665
報告セグメント計	5,911	4,676	▲1,234	374	▲1,540	▲1,915
その他	220	231	11	1	13	12
調整額	▲188	▲205	▲17	▲40	▲43	▲2
合計	5,944	4,703	▲1,241	335	▲1,570	▲1,905
海外売上収益	3,124	1,788	▲1,335			
海外売上収益比率	53%	38%	▲15%			

1. 2023年度第2四半期 連結決算  
報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益)

※特別要因を除く参考値

IHI

(億円)

	売上収益			営業利益		
	'22年度2Q	'23年度2Q	増減	'22年度2Q	'23年度2Q	増減
資源・エネルギー・環境	1,645	1,879	233	100	65	▲35
社会基盤	754	715	▲39	31	▲13	▲44
産業システム・汎用機械	2,002	2,136	133	53	30	▲22
航空・宇宙・防衛	1,509	1,634	124	188	106	▲82
報告セグメント計	5,911	6,364	453	374	189	▲184
その他	220	231	11	1	13	12
調整額	▲188	▲205	▲17	▲40	▲43	▲2
合計	5,944	6,390	446	335	160	▲175
海外売上収益	3,124	3,476	351			
海外売上収益比率	53%	54%	2%			

# 1. 2023年度第2四半期 連結決算

## 報告セグメント別内訳(営業利益の前年同期比増減要因)

(億円)

	PW1100G 影響額	E&C和解 影響額	売上収益 の増減	工事採算 の変動	為替の 変動	販管費の 変動	その他損益 の増減	合 計
資源・エネルギー・環境		▲146	▲32	2	4	▲11		▲182
社会基盤			▲9	▲26		▲9		▲44
産業システム・汎用機械			13	▲5	3	▲18	▲16	▲22
航空・宇宙・防衛	▲1,583		▲94	1	48	▲39	1	▲1,665
報告セグメント計	▲1,583	▲146	▲122	▲28	55	▲77	▲14	▲1,915
そ の 他				12	1	▲3	2	12
調 整 額						▲2		▲2
合 計	▲1,583	▲146	▲122	▲16	56	▲82	▲12	▲1,905

報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

販管費の変動とその他損益の増減では為替の変動などを除いている。

# 1. 2023年度第2四半期 連結決算 金融損益等

(億円)

	'22年度2Q	'23年度2Q	増 減
為替差損益	113	76	▲37
持分法による投資損益	▲36	17	53
その他の金融損益(※)	▲17	▲33	▲16
<b>金融損益等</b>	<b>59</b>	<b>59</b>	<b>0</b>

(※)その他の金融損益には受取配当金, 支払利息, リース支払利息, 社債利息, デリバティブ損失等を含む。

期末日レートの変動(米ドル) '22年度2Q +22.34円 (期首122.39円→期末144.72円)  
'23年度2Q +16.03円 (期首133.41円→期末149.44円)

# 1. 2023年度第2四半期 連結決算 連結財政状態計算書

(億円)

	'22年度末	'23年度2Q末	増減
<b>資産合計</b>	<b>19,419</b>	<b>20,533</b>	<b>1,113</b>
(うち 現金及び現金同等物)	(1,247)	(1,161)	(▲ 85)
(うち 営業債権, 契約資産)	(5,231)	(5,391)	(159)
(うち 棚卸資産)	(3,745)	(4,343)	(598)
<b>負債合計</b>	<b>14,857</b>	<b>17,275</b>	<b>2,418</b>
(うち 営業債務等)	(2,470)	(2,215)	(▲ 255)
(うち 契約負債)	(2,018)	(1,904)	(▲ 114)
(うち 返金負債)	(386)	(※3)(1,985)	(1,598)
(うち 有利子負債残高)	(5,194)	(6,447)	(1,252)
社債及び借入金	(3,936)	(5,216)	(1,280)
リース負債	(1,258)	(1,230)	(▲ 27)
<b>資本合計</b>	<b>4,562</b>	<b>3,257</b>	<b>▲ 1,305</b>
親会社の所有者に帰属する持分	4,312	2,984	▲ 1,328
非支配持分	250	272	22
<b>負債・資本合計</b>	<b>19,419</b>	<b>20,533</b>	<b>1,113</b>
<b>D/Eレシオ (※1)</b>	<b>1.14倍</b>	<b>1.98倍</b>	<b>0.84倍</b>
<b>親会社所有者帰属持分比率(※2)</b>	<b>22.2%</b>	<b>14.5%</b>	<b>▲ 7.7%</b>

(※1) D/Eレシオ=有利子負債/資本合計

(※2) 親会社所有者帰属持分比率=親会社の所有者に帰属する持分/負債・資本合計

(※3) PW1100G影響額として、当期に返金負債1,541億円を計上。

# 1. 2023年度第2四半期 連結決算 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	'22年度2Q	'23年度2Q	増 減
税引前四半期利益	395	▲1,510	▲1,905
減価償却費(※1)	315	308	▲6
その他	▲210	▲118	92
PW1100G影響額(※2)	0	1,541	1,541
小計	499	220	▲279
運転資本増減(※3)	▲599	▲1,035	▲435
営業キャッシュ・フロー	▲99	▲814	▲715
投資キャッシュ・フロー	▲216	▲313	▲96
フリー・キャッシュ・フロー	▲316	▲1,128	▲812
財務キャッシュ・フロー	▲193	1,014	1,208

(※1)減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示しており、開発資産、特許権、その他の無形資産の償却費を含まない。

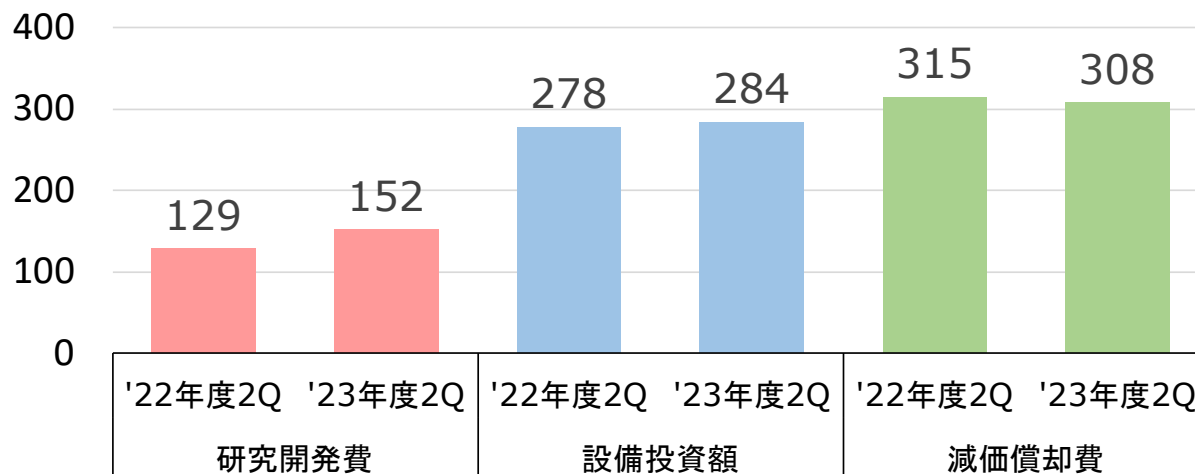
(※2)PW1100G影響額に係る返金負債を、従来の運転資本の増減と区別して記載。

(※3)運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示す。  
 $運転資本 = 営業債権 + 契約資産 + 棚卸資産 + 前払金 - 契約負債 - 営業債務 - 返金負債$

# 1. 2023年度第2四半期 連結決算 補足資料

## (1) 研究開発費・設備投資額・減価償却費

(億円)



設備投資額、減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示す。

## (2) 地域別売上収益

(億円)

	'22年度2Q	'23年度2Q	'23年度2Q (※特別要因を除く 参考値)
日本	2,819	2,914	
アジア	943	1,126	
中国	559	553	
北米	1,115	▲437	1,250
中南米	87	87	
欧州	367	416	
その他	51	41	
合計	5,944	4,703	6,390

## 2. 2023年度 連結業績見通し



## 2. 2023年度 連結業績見通し 通期業績見通し

今回見通しは、2023年10月25日公表の業績予想数値から変更ありません。

前提為替レート 米ドル 140円(前回見通し 130円)

(第3四半期以降)

(億円)

	'22年度実績	'23年度 前回見通しA (※1)	'23年度 今回見通しB	増 減 B-A
受 注 高	13,661	15,000	13,500	▲ 1,500
売 上 収 益	13,529	14,500	13,000	▲ 1,500
営 業 利 益	819	900	▲ 800	▲ 1,700
税引前当期利益	648	850	▲ 800	▲ 1,650
親会社の所有者に 帰属する当期利益	445	500	▲ 900	▲ 1,400

(※1) 前回見通しは、2023年8月8日公表の業績予想数値です。

(参考) 為替感応度(為替相場の1円変動による、営業利益への影響額): 米ドル 7億円

配当見通し(変更なし) 1株あたり 100円(中間 50円, 期末 50円)

## 2. 2023年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳(受注高 通期見通し)

(億円)

	'22年度実績	'23年度 前回見通しA	'23年度 今回見通しB	増減 B-A
資源・エネルギー・環境	3,934	3,800	3,700	▲100
社会基盤	1,340	1,800	1,800	0
産業システム・汎用機械	4,559	4,700	4,700	0
航空・宇宙・防衛	3,727	4,700	3,300	▲1,400
報告セグメント計	13,562	15,000	13,500	▲1,500
その他	539	500	500	0
調整額	▲440	▲500	▲500	0
合計	13,661	15,000	13,500	▲1,500

前回見通しは、2023年8月8日公表の業績予想数値です。

今回見通しは、2023年10月25日公表の業績予想数値から変更ありません。

## 2. 2023年度 連結業績見通し

### 報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益 通期見通し)



(億円)

	売上収益				営業利益			
	'22年度実績	'23年度 前回見通しA	'23年度 今回見通しB	増減 B-A	'22年度実績	'23年度 前回見通しA	'23年度 今回見通しB	増減 B-A
資源・エネルギー・環境	3,713	3,800	3,700	▲100	262	260	120	▲140
社会基盤	1,710	1,900	1,900	0	170	130	130	0
産業システム・汎用機械	4,365	4,600	4,600	0	180	240	240	0
航空・宇宙・防衛	3,641	4,300	2,900	▲1,400	361	510	▲1,050	▲1,560
報告セグメント計	13,431	14,600	13,100	▲1,500	975	1,140	▲560	▲1,700
その他	542	500	500	0	13	30	30	0
調整額	▲444	▲600	▲600	0	▲168	▲270	▲270	0
合計	13,529	14,500	13,000	▲1,500	819	900	▲800	▲1,700

前回見通しは、2023年8月8日公表の業績予想数値です。

今回見通しは、2023年10月25日公表の業績予想数値から変更ありません。

## 2. 2023年度 連結業績見通し

### 報告セグメント別内訳(前回見通しからの営業利益の増減要因)

IHI

(億円)

	PW1100G 影響額	E&C和解 影響額	売上収益の 増減	工事採算の 変動	為替の変動	販管費の 変動	その他損益 の増減	合 計
資源・エネルギー・環境		▲ 150			10			▲ 140
社会基盤								0
産業システム・汎用機械								0
航空・宇宙・防衛	▲ 1,600		▲ 50		90			▲ 1,560
報告セグメント計	▲ 1,600	▲ 150	▲ 50	0	100	0	0	▲ 1,700
そ の 他								0
調 整 額								0
合 計	▲ 1,600	▲ 150	▲ 50	0	100	0	0	▲ 1,700

前回見通しは、2023年8月8日公表の業績予想数値です。

今回見通しは、2023年10月25日公表の業績予想数値から変更ありません。

(億円)

	'22年度実績	'23年度 前回見通しA	'23年度 今回見通しB	増減 B-A
税引前当期利益	648	850	▲800	▲1,650
減価償却費(※1)	629	640	640	0
PW1100G影響額(※2)	0	0	1,400	1,400
運転資本増減(※3)	▲772	▲200	▲200	0
その他	35	▲290	▲290	0
営業キャッシュ・フロー	541	1,000	750	▲250
投資キャッシュ・フロー	▲523	▲1,000	▲900	100
フリー・キャッシュ・フロー	17	0	▲150	▲150

(※1) 減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用权資産およびソフトウェアに係る金額を示しており、開発資産、特許権、その他の無形資産の償却費を含まない。

(※2) PW1100G影響額に係る返金負債を、従来の運転資本の増減と区別して記載。

(※3) 運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示す。  
 運転資本=営業債権+契約資産+棚卸資産+前払金-契約負債-営業債務-返金負債

前回見通しは、2023年8月8日公表の業績予想数値です。

今回見通しは、2023年10月25日公表の業績予想数値から変更ありません。

### 3. 報告セグメント別の概況

### 3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

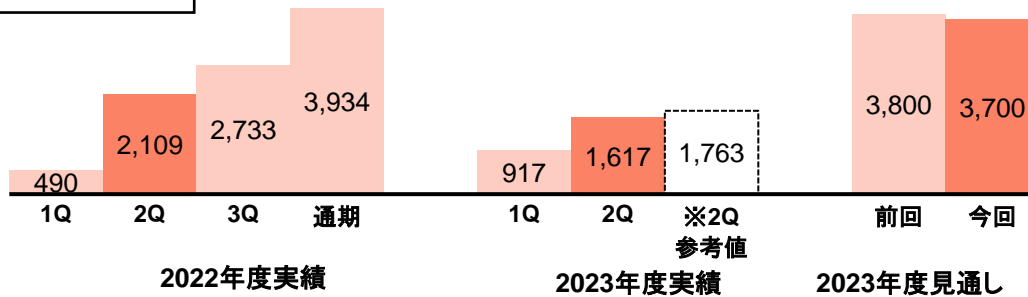
(億円/各期の金額は累計)

前回: 2023年8月8日公表の業績予想数値

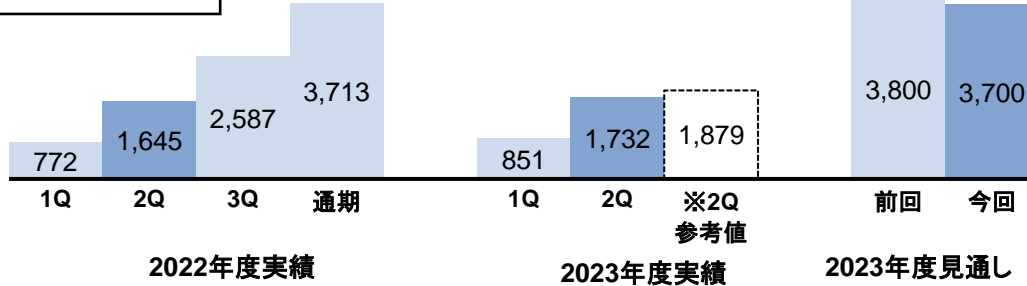
※2Q参考値として、2Q実績からE&C和解影響額を除いた数値を表示。

主要事業: 原動機, カーボンソリューション, 原子力

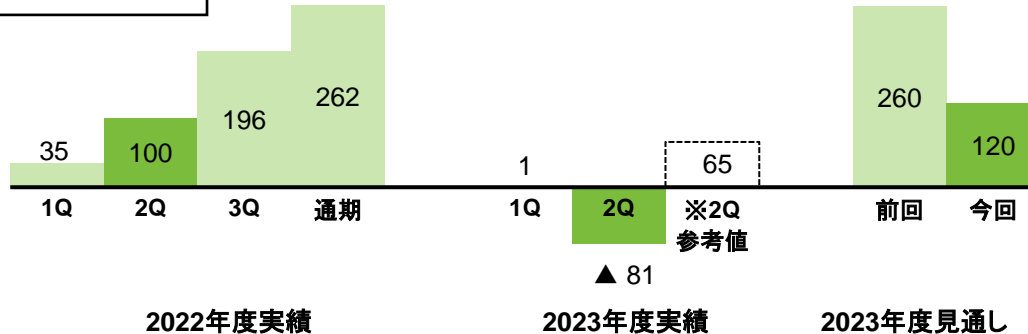
#### 受注高



#### 売上収益



#### 営業利益



#### 実績(対前年同期)

- E&C和解影響により受注高・売上収益・営業利益 ▲146億円。
- 上記以外の実績(対前年同期)を、以下に記載。

#### 【受注高】

カーボンソリューションで増加となったものの、東南アジアでの大型発電所プロジェクトや原子力で減少。

#### 【売上収益】

原子力の工事量減少により減収となったものの、東南アジアの大型発電所プロジェクトやカーボンソリューションのLCB増加により増収。

#### 【営業利益】

東南アジアの大型発電所プロジェクトやカーボンソリューションで増益となったものの、原子力の減収により減益。

#### 通期見通し(対前回見通し)

- E&C和解影響により、受注高の減少、売上収益・営業利益の減収・減益を反映。

### 3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円)

	受注高						売上収益					
	'22年度				'23年度		'22年度				'23年度	
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	2Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	2Q累計	通期
原 動 機	222	491	759	976	427	740	157	326	532	818	313	800
カ ー ボ ン ソ リ ュ ー シ ョ ン	33	239	396	677	785	1,820	323	737	1,111	1,562	795	1,630
原 子 力	113	255	333	487	72	340	159	287	453	710	210	550



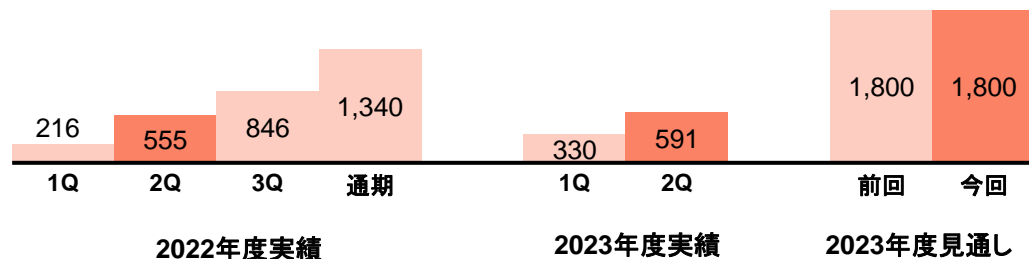
### 3. 報告セグメント別の概況 社会基盤

(億円/各期の金額は累計)

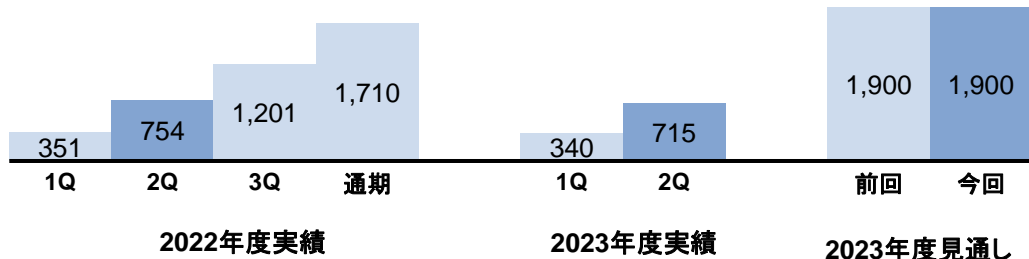
前回: 2023年8月8日公表の業績予想数値

主要事業: 橋梁・水門, シールドシステム, 都市開発,  
交通システム, コンクリート建材

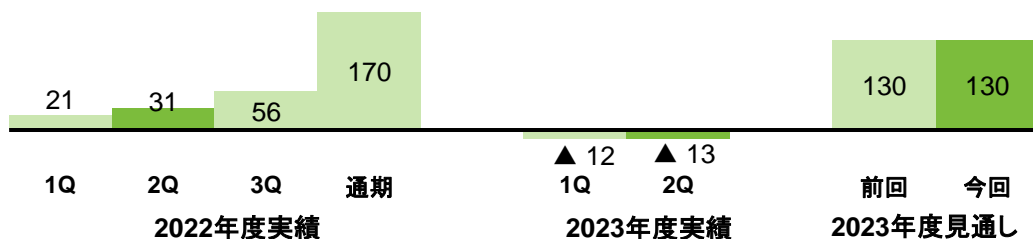
#### 受注高



#### 売上収益



#### 営業利益



#### 実績(対前年同期)

##### 【受注高】

橋梁・水門やコンクリート建材で増加。

##### 【売上収益】

橋梁・水門の海外大型工事や, シールドシステムで減収。

##### 【営業利益】

橋梁・水門での原価先行算入により減益。

#### 通期見通し(対前回見通し)

- 前回見通しから変更なし。

### 3. 報告セグメント別の概況 社会基盤

(億円)

	受注高						売上収益					
	'22年度				'23年度		'22年度				'23年度	
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	2Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	2Q累計	通期
橋梁・水門	93	274	401	692	301	1,040	202	438	701	1,031	409	1,130
シールドシステム	14	43	98	181	46	270	51	93	144	180	73	240
都市開発	43	85	132	175	83	170	41	85	131	175	83	170

「都市開発」の豊洲地区関連情報は、＜参考資料＞都市開発を参照。

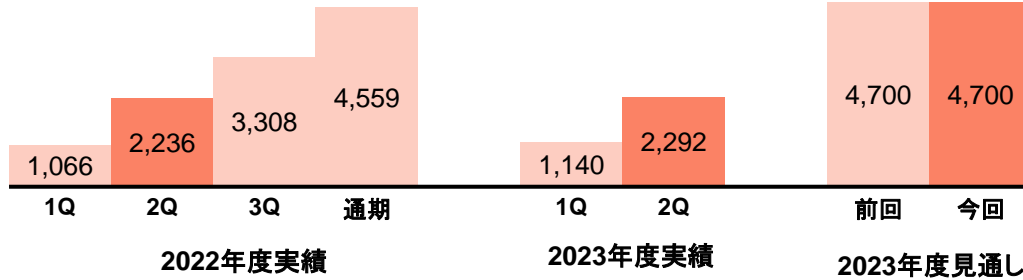
### 3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円/各期の金額は累計)

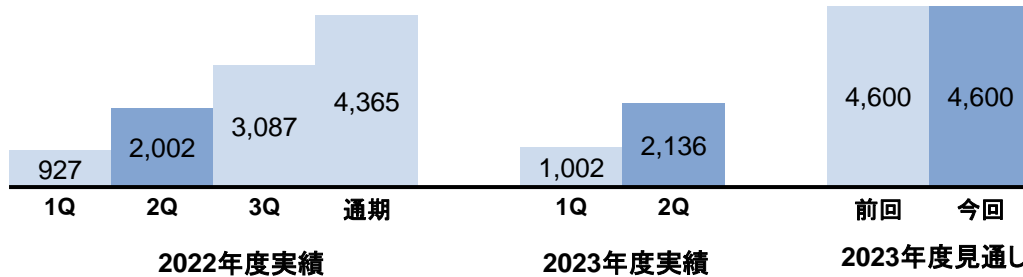
前回: 2023年8月8日公表の業績予想数値

主要事業: 車両過給機, パーキング, 回転機械,  
熱・表面処理, 運搬機械, 物流・産業システム

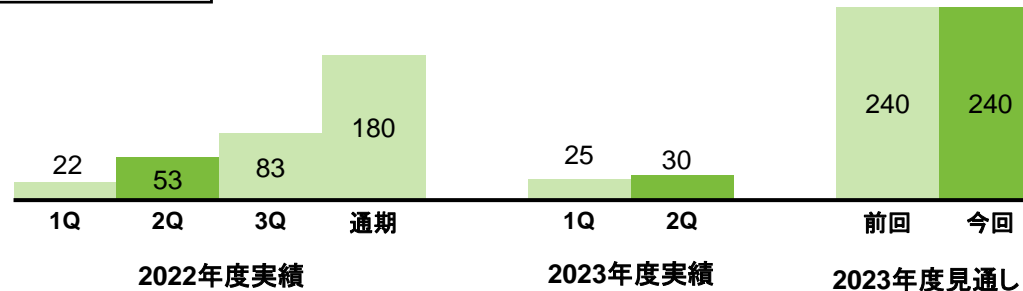
#### 受注高



#### 売上収益



#### 営業利益



#### 実績(対前年同期)

##### 【受注高】

運搬機械や熱・表面処理で減少したものの、車両過給機で増加。

##### 【売上収益】

車両過給機で増収。

##### 【営業利益】

車両過給機で増収の影響があったものの、資材価格高騰によりパーキングで減益となったほか、販管費増加等により減益。

#### 通期見通し(対前回見通し)

- 前回見通しから変更なし。

(億円)

	受注高						売上収益					
	'22年度				'23年度		'22年度				'23年度	
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	2Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	2Q累計	通期
車両過給機	397	897	1,381	1,892	1,005	2,020	399	899	1,381	1,895	998	2,020
パーキング	116	277	402	600	296	580	94	200	323	463	235	570
回転機械	184	345	465	632	341	630	117	263	406	589	266	630
熱・表面処理	135	253	383	484	224	540	101	216	341	477	224	500
運搬機械	85	169	219	314	112	330	89	159	242	339	147	330
物流・産業システム	77	159	264	360	161	450	66	141	213	336	141	410

「車両過給機」の詳細は、＜参考資料＞車両過給機を参照。

＜車両過給機の販売台数＞

(万台)

販売年度	2Q累計	通期
2022年度	274	559
2023年度	288	580

### 3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

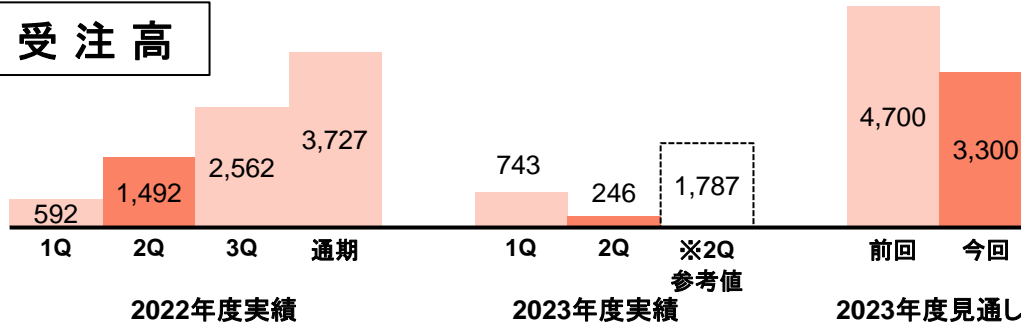
(億円/各期の金額は累計)

前回: 2023年8月8日公表の業績予想数値

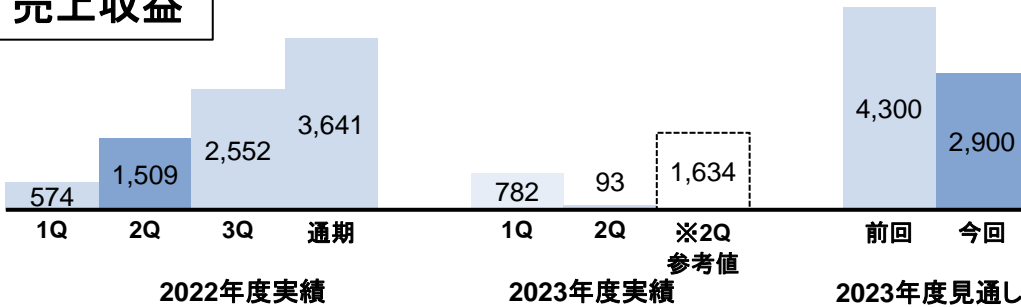
※2Q参考値として、2Q実績からPW1100G影響額を除いた数値を表示。

主要事業: 航空エンジン、ロケットシステム・宇宙利用  
防衛機器システム

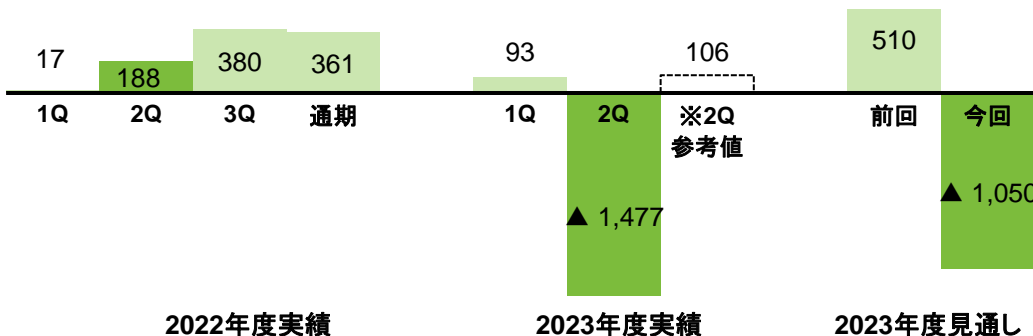
#### 受注高



#### 売上収益



#### 営業利益



#### 実績(対前年同期)

- PW1100G影響額により受注高・売上収益▲1,541億円, 営業利益▲1,583億円。
- 上記以外の実績(対前年同期)を、以下に記載。

##### 【受注高】

民間向け航空エンジンや、防衛事業で増加。

##### 【売上収益】

民間向け航空エンジンの本体販売増加により増収。

##### 【営業利益】

為替による増益はあるものの、民間向け航空エンジンで量産初期段階のPW1100Gエンジン本体の販売が増加したほか、アフターマーケット費用や販管費の増加により減益。

#### 通期見通し(対前回見通し)

- PW1100G追加検査による受注の減少, 売上収益・営業利益の減収・減益のほか、足もとのアフターマーケット費用の増加などの業績変動リスクを一定程度反映。

### 3. 報告セグメント別の概況

#### 航空・宇宙・防衛

(億円)

	受注高						売上収益					
	'22年度				'23年度		'22年度				'23年度	
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	2Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	2Q累計	通期
民間向け 航空エンジン	371	949	1,576	2,030	▲ 495	1,070	376	947	1,571	2,014	▲ 505	1,190
					1,046	2,610					1,036	2,730

23年度数表下段に、PW1100G影響額を除外した数値を表示。

#### <民間向け航空エンジンの販売台数> (台)

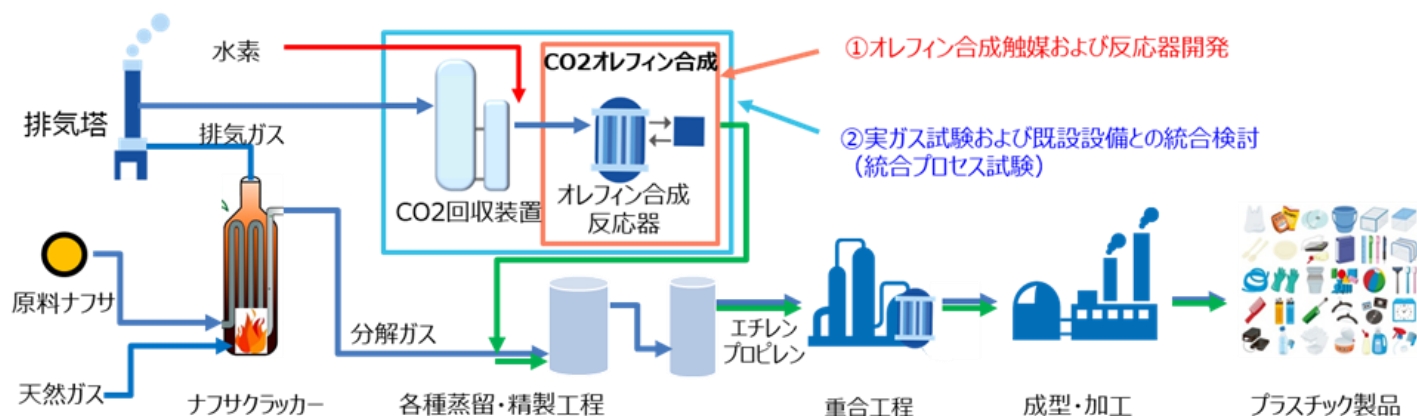
販売年度	2Q累計	通期
2022年度	460	918
2023年度	495	1,204

## < 参考資料 >

- ・当第2四半期のトピックス
- ・主要な経営指標の推移
- ・航空エンジン
- ・車両過給機
- ・都市開発

## タイ石油化学プラントにおいてカーボンニュートラルな低級オレフィン合成技術の実証試験実施に合意

IHIは、SCG Chemicals Public Company Ltd. (以下「SCGC」)との間で、2021年度に受託した国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「CO<sub>2</sub>を原料とした直接合成反応による低級オレフィン(\*1) 製造技術の研究開発」の実証試験を、SCGCが運営するタイの石油化学プラントにおいて実施することを合意しました。本実証試験から得られる低級オレフィンを、既設商用プラントで製造された低級オレフィンと物性比較や互換性評価を行ない、商用化に向けて検討していきます。今後は、本技術開発の完成時に社会実装の可能性を確認するため、SCGCと共に低級オレフィン合成プロセスの商用化を目指すとともに、化学工業分野でのカーボンニュートラルの実現に向けて貢献していきます。



(\*1)低級オレフィン:エチレン, プロピレンなどの総称。生活必需品である包装材, 発砲スチロール, ペットボトルなどのプラスチック製品の製造に用いられる。

<左図:本研究での実施項目(①・②)と既存設備を最大限活用するバリューチェーンのイメージ図>

## ルーマニア国内最長の大型吊橋ブライラ橋が開通

IHIのグループ会社であるIHIインフラシステム(以下「IIS」)がイタリアのWebuild社とのJVで建設を進めていた、大型吊橋「ブライラ橋(Braila Bridge)」が開通しました。IHIグループとして同国において初めての受注で、海外大型橋梁建設の実績や知見が評価されたものです。同橋は、ルーマニア国内最長、EU域内では3番目の中央径間長を誇る吊橋です。

IISは豊富な海外大型橋梁建設の経験を有しており、現在も複数の建設工事を進行中です。今後もより一層海外での橋梁受注活動を推進し、社会インフラ整備を通して各国の発展に貢献していきます。



<ブライラ橋>



## 豪州でグリーンアンモニア製造・販売事業への出資検討を開始



<左から6人目がIHI 理事 事業開発統括本部副本部長 山本 建介, 7人目がIHI Engineering Australia Managing Director 中村 元哉>

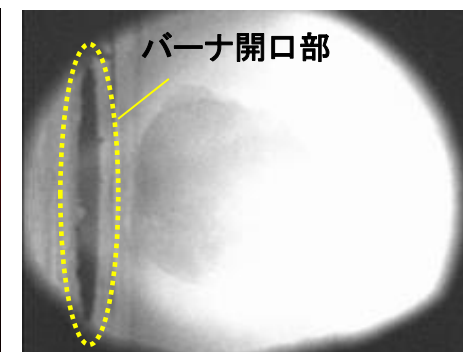
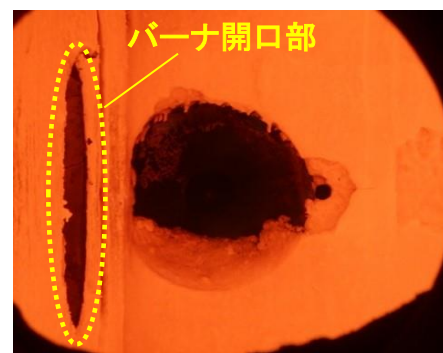
IHIは、当社オーストラリア法人IHI Engineering Australiaを通じ、再生可能エネルギー由来のグリーンアンモニア製造・販売事業であるNorth Queensland Clean Energy Projectに、共同開発パートナーとして参加します。豪州クイーンズランド州のアボットポイント港にて、豊富な太陽光と風力を用い、年間50万トンのグリーンアンモニアの製造・販売を目指します。2024年2月までに初期基本設計(FEED)ステージに進み、2025年を目標に最終出資判断を行なう計画です。

現在の化石燃料由来のアンモニアを、再生可能エネルギー由来のアンモニアに切り替えることで、CO<sub>2</sub>排出量を極めて低く抑えることができます。また、製造・貯蔵・輸送技術が既に確立されていることから早期社会実装が期待されており、広範囲な脱炭素ソリューションを提供できる可能性を有しています。

## 火力発電用ボイラ向け専焼バーナのアンモニア火炎可視化に成功

IHIは、火炉内では目視確認できないアンモニア火炎の状態を、特殊なカメラとフィルタを用いた撮影により可視化することに成功しました。この開発は、IHI×東北大学アンモニアバリューチェーン共創研究所との共同開発成果です。火炎の可視化に成功したことで、詳細な燃焼状態の確認や計測結果の妥当性評価が可能となり、より信頼性の高いバーナの開発ならびに実用化に取り組みます。

IHIは2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、燃料アンモニアを含めたカーボンニュートラル燃料の社会実装の早期実現と、グローバルな環境負荷の低減に貢献していきます。



<通常カメラで撮影したアンモニア専焼火炎(左図), 特殊カメラとフィルタにより撮影したアンモニア専焼火炎(右図)>  
※通常カメラではアンモニア火炎は写らず、奥の窓から見える背景が黒く写るが、特殊カメラでは火炎形状を明確に視認可能

# 主要な経営指標の推移

	日本基準		IFRS						IFRS
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 2Q	2023年度 (見通し)	2023年度 (前回見通し)
受注高	15,050億円	13,992億円	12,800億円	10,970億円	12,612億円	13,661億円	4,802億円	13,500億円	15,000億円
売上収益	15,903億円	14,834億円	12,631億円	11,129億円	11,729億円	13,529億円	4,703億円	13,000億円	14,500億円
営業利益	722億円	824億円	478億円	279億円	814億円	819億円	▲ 1,570億円	▲ 800億円	900億円
親会社の所有者に帰属する当期利益	82億円	398億円	82億円	130億円	660億円	445億円	▲ 1,375億円	▲ 900億円	500億円
営業CF	990億円	464億円	424億円	363億円	1,141億円	541億円	▲ 814億円	750億円	1,000億円
投資CF	▲ 479億円	▲ 792億円	▲ 855億円	▲ 404億円	279億円	▲ 523億円	▲ 313億円	▲ 900億円	▲ 1,000億円
FCF	510億円	▲ 328億円	▲ 430億円	▲ 41億円	1,420億円	17億円	▲ 1,128億円	▲ 150億円	0億円
配当	中間3円/株 期末30円/株 (期末は、株式 併合後)	70円/株 (中間30円、 期末40円)	50円/株 (中間30円、 期末20円)	0円/株	70円/株 (中間30円、 期末40円)	90円/株 (中間40円、 期末50円)	-	100円/株 (中間50円、 期末50円)	100円/株 (中間50円、 期末50円)
ROIC	7.7%	8.7%	4.1%	2.2%	6.4%	6.3%	-	▲ 11.6%	6.4%
営業利益率	4.5%	5.6%	3.8%	2.5%	6.9%	6.1%	▲ 33.4%	▲ 6.2%	6.2%
CCC	83日	97日	92日	124日	112日	120日	-	-	124日
D/Eレシオ	0.92倍	0.93倍	2.00倍	1.85倍	1.24倍	1.14倍	1.98倍	1.66倍	1.13倍
ROE	2.6%	11.8%	2.8%	4.5%	19.3%	11.0%	-	▲ 23.9%	11.0%
親会社所有者帰属 持分比率	19.9%	21.0%	15.0%	16.4%	20.3%	22.2%	14.5%	17.4%	23.2%

ROIC: (営業利益+受取利息・配当金)税引後 / (親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)

CCC: 運転資本 / 売上収益 × 365日

D/Eレシオ: 有利子負債 / 資本合計

ROE: 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 親会社の所有者に帰属する持分

親会社所有者帰属持分比率: 親会社の所有者に帰属する持分 / 負債・資本合計

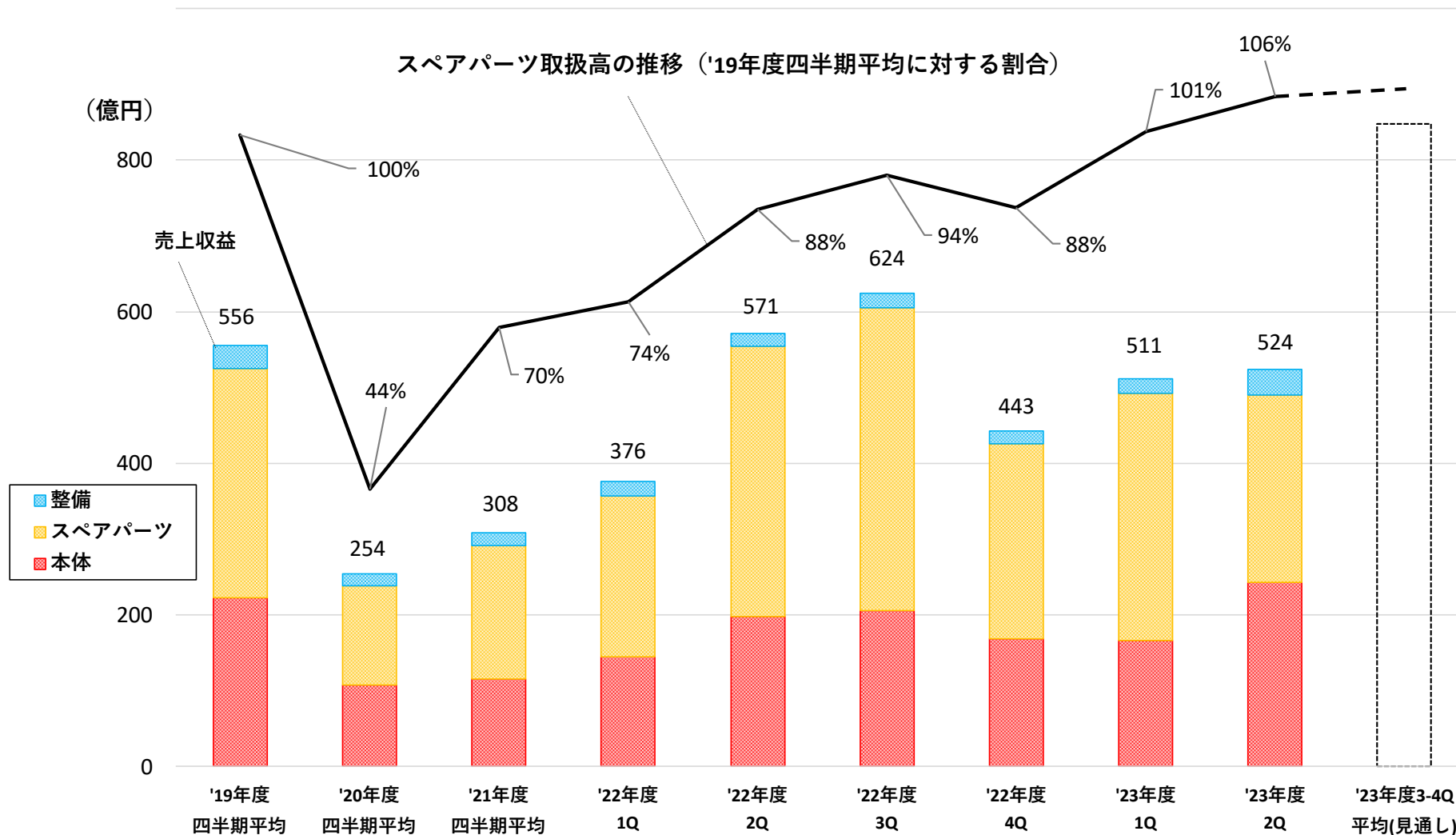
## 売上収益・機種別累計販売台数推移

	日本基準						IFRS					主要搭載機
	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23/2Q 累計	
売上収益(億円)	2,260	2,670	2,991	2,915	2,810	3,185	2,224	1,017	1,233	2,014	▲ 505	
累計販売台数(台)												
V2500	5,969	6,469	6,896	7,236	7,508	7,688	7,735	7,740	7,756	7,776	7,780	エアバス A319/320/321
GE90	1,806	2,039	2,257	2,457	2,617	2,715	2,824	2,885	2,925	2,968	2,998	ボーイング B777
CF34	3,820	4,156	4,471	4,821	5,085	5,331	5,611	5,798	5,926	6,085	6,149	リージョナルジェット (70~110席級)
GE <sub>nx</sub>	468	751	1,035	1,295	1,542	1,826	2,159	2,328	2,425	2,494	2,532	ボーイング B787/B747-8
PW1100G			16	148	398	1,058	1,784	2,144	2,585	3,146	3,472	エアバス A320neo
Passport20					13	66	142	202	269	335	368	ボンバルディア Global7500
合計	12,063	13,415	14,675	15,957	17,163	18,684	20,255	21,097	21,886	22,804	23,299	

販売台数は、機体メーカーに引き渡した台数であり、工場出荷台数とは異なる。

## 民間向け航空エンジンの状況

### 民間向け航空エンジンの売上収益(※)およびスペアパーツ取扱高(USDベース)の推移



※売上収益には、PW1100G影響額を除いた数値を表示。

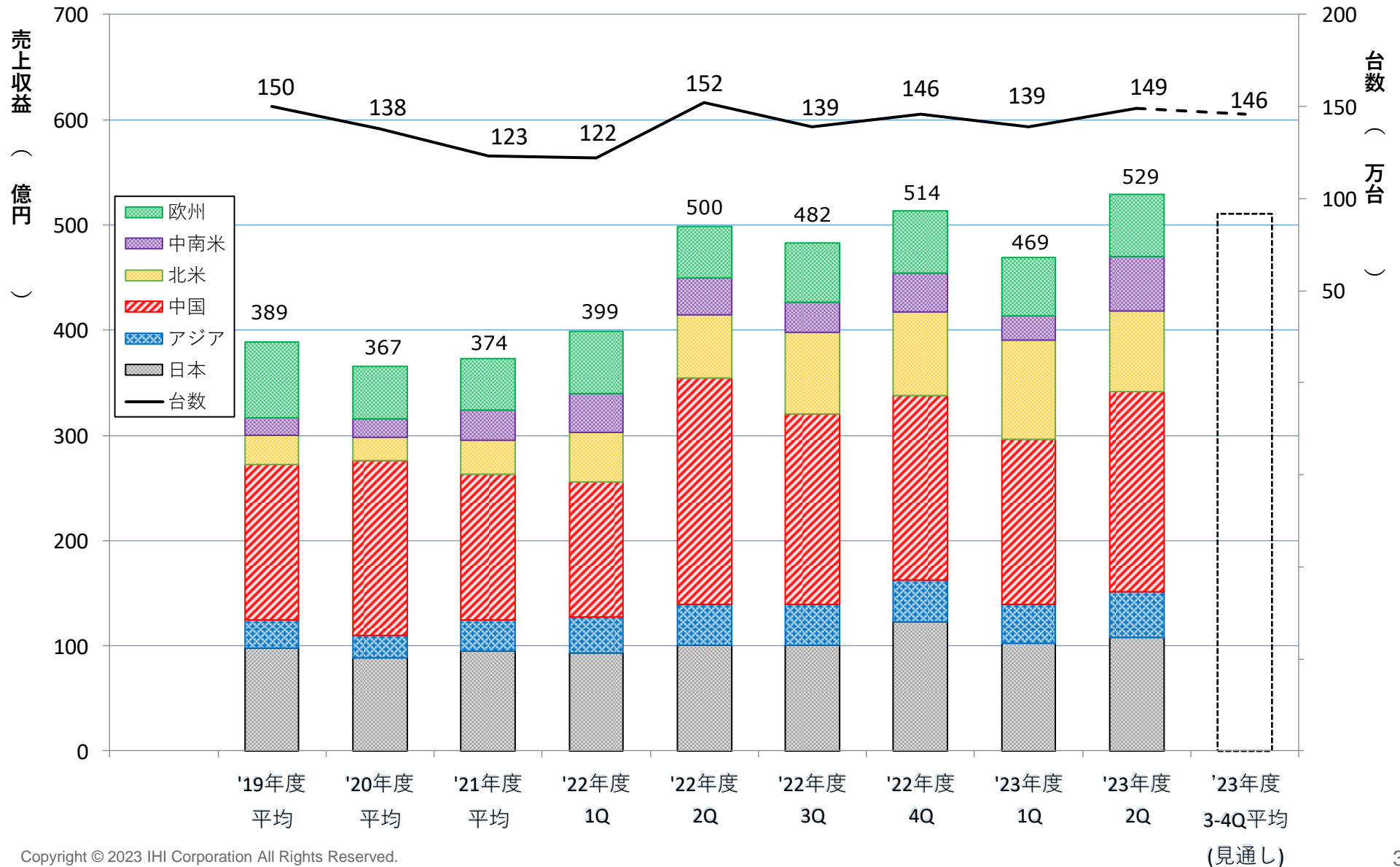
## 地域別売上収益・販売台数推移

(億円)

	日本基準						IFRS					
	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	
											2Q累計	見通し
日本	353	375	346	389	398	446	391	354	380	418	210	450
アジア	298	275	216	158	117	110	107	85	118	149	80	140
中国	234	243	249	485	719	631	572	665	554	702	348	670
北米	16	18	24	33	84	116	108	90	131	264	171	340
中南米	0	7	34	61	74	75	66	69	115	138	75	120
欧州	602	756	743	617	811	513	289	199	195	223	114	300
その他	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0
合計	1,507	1,677	1,616	1,746	2,205	1,895	1,536	1,466	1,494	1,895	998	2,020
販売台数(万台)	554	589	536	610	790	676	600	551	492	559	288	580

## 車両過給機の状況

### 車両過給機 販売台数・地域別売上収益推移



## (1) 豊洲地区 賃貸収入の実績推移

(億円)

	日本基準						IFRS					
	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	
											2Q累計	見通し
賃貸収入	91	93	101	93	92	93	94	123	121	122	60	120

## (2) 豊洲地区 賃貸収入, 賃貸費用実績(当期)

(億円)

	賃貸収入	賃貸費用		差額
		減価償却費	その他	
'23年度2Q	60	27	21	11



# 豊洲1~3丁目地区 開発マップ

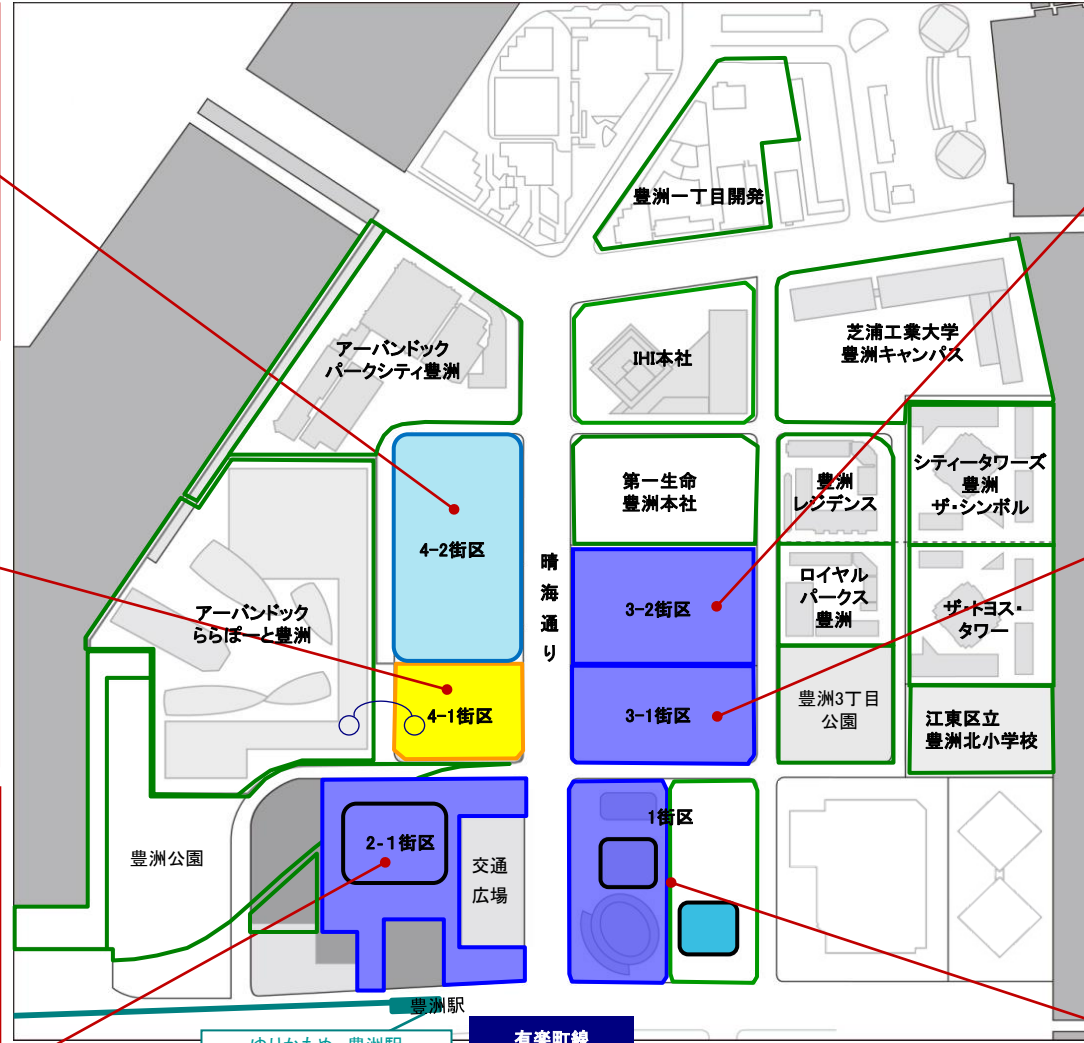
**豊洲4-2街区開発計画**  
敷地面積: 19,493㎡  
2022年7月着工～2025年6月竣工予定

**アーバンドック ららぽーと豊洲ANEX**  
地上5F, 高さ約25m, 延床面積: 24,721㎡  
2006年10月開業

**豊洲ベイサイドクロスタワー(AC棟)**  
地上36F, 高さ178m, 延床面積約185,000㎡  
2020年3月竣工

A棟

C棟



**豊洲フォレシア**  
地上16F, 高さ: 約75m, 延床面積: 101,503㎡  
2014年7月竣工

**豊洲フロント**  
地上15F, 高さ: 約75m, 延床面積: 106,861㎡  
2010年8月竣工

**豊洲センタービルアネックス**  
地上33F, 高さ: 約150m, 延床面積: 105,448㎡  
2006年8月竣工

**豊洲センタービル**  
地上37F, 高さ: 約165m, 延床面積: 100,069㎡  
1992年10月竣工

豊洲センタービル

同アネックス



# IHI

Realize your dreams

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。